

高い周波数を開拓したSF-T1-1方式

SF-T1-1 system that exploited higher frequencies

近距離市外電話回線のために開発した11GHz帯の

短距離マイクロ波方式。1システムあたり960 通話路の多重電話信号

または1チャンネルのカラーテレビ信号を伝送。導波管の減衰量が大きいため、

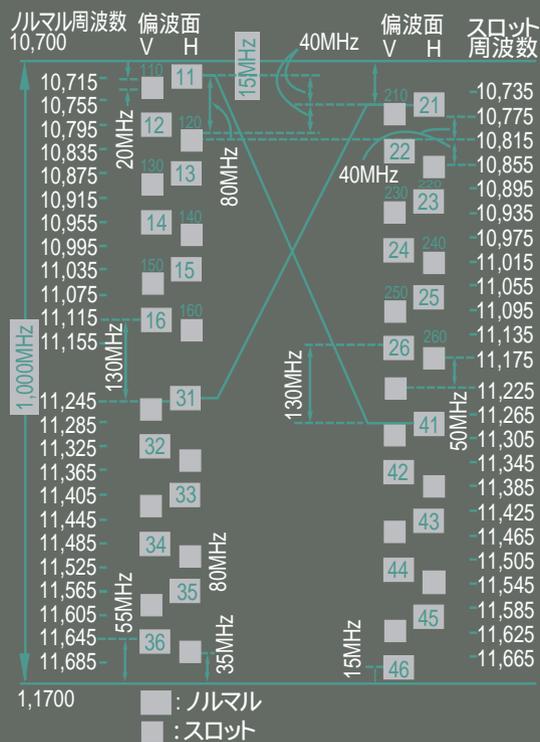
反射板によるビーム給電方式としたことに伴い4周波方式を使用した。

FM変調器にはリアクタンス管変調方式を採用しているが、

その後、中間周波以下の部分を固体化したSF-T2方式を開発した。

方式の概要 System overview

4周波方式における周波数配置



諸元

方式名	SF-T1-1方式
伝送容量	カラーテレビ1ch または、電話960ch
標準中継距離	30km(最大回線長:120km)
中継方式	4周波によるヘテロダイン中継
システム構成	5+1
送信出力	28dBm
雑音指数	15dB以下
周波数配置	インターリーブ配置
ch間隔	40MHz
アンテナ系	パラボラアンテナ(送受共用)
許容雑音量	評価雑音2,000pW